



哲 學 研 究

第 四 卷 第 十 一 冊

第 四 十 四 號

大 正 八 年 十 一 月 一 日 發 行

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正八年十月二十七日印刷納本（每月一回一日發行）

新著紹介……………	彙報……………	價値の體系(一)…………… 法學博士 左右田喜一郎	佛教の預言說…………… 文學士 手島文倉	宗教的對象と人格觀念…………… 文學士 宇野圓空	認識主觀の問題…………… 文學博士 田邊元
-----------	---------	------------------------------	-------------------------	-----------------------------	--------------------------

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ設ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教育及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年參圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

- | | |
|------|-------|
| 文學博士 | 波多野精一 |
| 文學博士 | 西田幾多郎 |
| 文學博士 | 朝永三十郎 |
| 文學士 | 千葉胤成 |
| 文學博士 | 狩野直喜 |
| 文學博士 | 米田庄太郎 |
| 文學博士 | 高瀬武次郎 |
| 文學博士 | 田邊元 |
| 文學士 | 務臺理作 |
| 文學士 | 植田壽藏 |
| 文學博士 | 野上俊夫 |
| 文學博士 | 松本文三郎 |
| 文學博士 | 深田康算 |
| 文學博士 | 藤井健治郎 |
| 文學博士 | 小西重直 |
| 文學士 | 澤村專太郎 |
| 書記 | 寶嚴方治 |

寄贈書籍雜誌

ヴァイリアム・ジエームス及び其思想

文學士 小熊虎之助著 心理學研究會

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、無盡燈、六

條學報、早稻田文學、教育、内外教育時論、教育研究、教育時
 論、東京教育、京都教育、奈良縣教育、静岡教育、岐阜縣教育、
 三重教育、愛知教育、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、佐賀
 縣教育、蕨備教育、長崎縣教育雜誌、宮城教育、愛媛教育、
 文化運動、學校教育、教育界、現代教育、

前號目次

カント定言命令の形式性に就いて	文學士 錦田 義 富
ロイスの「意味」	文學士 河 瀨 憲 次
體驗の哲學	文學士 勝 部 謙 造
ピネエシモン式知能検査法の公算論的見解	文學士 岩 井 勝 二 郎
彙報	

會

告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候

一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
 文學部内 京都哲學會

振替口座大阪參〇六六參番

定價

廣告料

冊	數	定	價	一	郵	稅
一冊	冊	金	參	拾	錢	壹
六冊(前金)	冊	金	壹	圓	八	拾
十二冊(前金)	冊	金	參	圓	六	拾

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註文規

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正八年十月二十七日印刷納本
 大正八年十一月一日發行
 第四十四號 第四卷 第十二册



編輯者 京都帝國大學文學部内
 京都市哲學會
 右代表者 寶嚴方治

發行者 大葉久吉
 印刷者 青柳十一郎
 印刷所 秀英舎第一工場

發行所

東京日本橋區本石町三丁目
 (振替口座東京二八〇番)

寶文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目
 大阪市東區淡路町四丁目

寶文館

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

文學博士 辻 善之助先生著

〔新刊〕

日本佛教史の研究

菊判函入裝釘美麗
紙數 八百二十頁
定價 金四圓八十錢
送料 金十八錢

佛教史研究の權威たる著者が多年研鑽の結果は此に首尾一貫せる唯一の日本
佛教史として上梓せられたり。本書は日本佛教史の文明史的研究を試み特に
政教關係に重きを置き之れによりて斯學の研究に一新生面を開かんとするも
のなり。

本書收むる所篇數凡そ十八就中「本地垂迹説の起源」の如きは百五十頁の大篇にして之れのみにても優
に一部の冊を成すべきもの神佛混合の事蹟を述べて先人未發の見を立つ「安國寺利生塔考」には足利氏
が建てたる安國寺の起源沿革を詳にして南北朝の關係に及び「尊氏の信仰」に於ては内面的觀察により
て尊氏の性格を稽へその後醍醐天皇に對し奉る態度に論及して一般世論の偏倚を正しその他「國分寺
考」「顯戒論撰述の由來」「信仰と趣味」「安土宗論の真相」「一絲和尚と朝幕關係」「澤庵和尚と將軍家
光」を始め何れも皆前人未言の説多し。

東本 京町 金 港 堂 振八 替八 東一 京五

哲學研究

第四十四號

第四卷 第十二冊

大正八年 每月一回 十一月一日發行(一日發行)

(大正五年四月六日 第三種郵便物認可)

定價金參拾錢